



世界に希望を生み出そう

HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

CLUB WEEKLY

国際ロータリー第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 木 戸 章 由
幹 事 井 上 善 博
会報委員長 山 村 忠 弘

2023-9-07 (第1053回)

今週のプログラム

≪9月07日(木)例会 KKRホテル大阪2F「琴」≫

◎卓 話 「高峰譲吉(たかみねじょうきち)博士
について」

田村嘉宏君

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

次回の予定

≪9月14日(木)例会 公休日≫

前回の出席率

≪8月17日(木)例会≫

会員数17名(内出席免除者数7名)
本日の出席者数8名(内出席免除者数2名)
本日の出席率 66.7%

*7月13日(木)
会員数17名(内出席免除者集7名)
例会出席者9名(内出席免除者数3名)
メークアップ1名 例会修正出席率 76.9%

幹事報告

幹事 井上善博君

- ◎本日は、4名のビジターの方がお越しになっております。
大橋ガバナーエレクトと吉崎次期代表幹事がお越しになっています。
また、東大阪RCより、2/3(土)IMRDの案内とメークアップに、奥田昌義様、轟原伸哉様です。
ようこそお越し頂きました。
- ◎例会終了後、定例理事会を行います。
- ◎次週(9/14)は公休日です。
- ◎9/16(土)クラブ国際奉仕・社会奉仕委員長会議には、阪田国際担当が出席されます。
- ◎秋田県に記録的大雨災害に対しての募金箱を今週もまわさせていただきます。ご協力宜しくお願い致します。

東輪会合同例会

日時: 9月28日(木) 13時~(受付11:30~)
*受付してから会場にて先にお食事を召し上がって下さい。

場所: シェラトン都ホテル大阪4階「浪速」

講演: 「アートを通して子供達を主役にする
地域づくり」 講師 西田順治様
一般社団法人 アトリエスタ 理事
畿央大学 附属広陵こども園 講師

会長の時間(8/17)

副会長 表 孝典君

本日も木戸会長が多忙のため急遽代理をさせていただきます。

例会場: KKRホテル大阪 Tel: 06-6941-1122 例会日時: 毎週木曜日 午後6時30分
事務所: 〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30
Tel: 0742-55-4869 Fax: 0742-51-1067 E-mail midorirc1126@gmail.com



先日の台風 7 号は近畿地方を縦断し、皆様被害など大丈夫でしたでしょうか？本日お盆明けに皆さんと元気にお会い出来たこと嬉しく思います。

8 月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。新入会員を増やすことを会員増強と言いますが、合わせて退会防止もとても大事なことです。

せっかく入会した新入会員が退会をしてしまうなど、何かクラブが新入会員に対するフォローなど課題があるか考える必要があります。

R I のサイトの中に「会員維持調査・分析」というものがあります。

会員が入会から何年後にどのような理由で退会するのか調べて、会員の関心と意欲を維持するための方策をたてるようにします。

まず、退会の時期と理由を調査します。

退会していくのは、長年の会員か、新会員か、またその両方か。なぜ退会するのか。

関心と意欲を維持するための行動計画の策定を考える
・クラブの強みは何か。・クラブの弱みは何か。

・積極的に関わっていない会員の参加を促すにはどうすればいいか。

クラブの弱みを改善し、強みを生かす方法を話し合います。会員歴の様々な段階で積極的な参加を促す方法についてアイデアを募りましょう。

卓話抄録

「ウクライナ侵攻の今後」

島 啓介君

日本ウクライナ文化交流会 担当部長 グレンコ・アンドリー氏の講演会より

1. なぜロシアはウクライナに侵攻したのか。

ロシア人の歪んだ世界観の中で、ウクライナの土地はロシアの一部で、ウクライナ人はロシア民族の一部だということになっている。ロシア人は独立したくウクライナ国家、そしてウクライナ民族の存在を認めない。彼らの世界観の中で、ウクライナ人というのは、間違っただけの思想を植え付けられたロシア人だということだ。

この認識を、ロシアの指導層だけではなく、ロシア国民の圧倒的多数が持っている。だから、ロシア人はウクライナの国土を併合し、ウクライナ民族を

なくさなければならぬと思っている。

ウクライナ征服はロシア人の信念なので、そのために、ロシア人いかなる犠牲も顧みない。

つまり、ロシア人は何人死のうが、ロシアにいかなる損害を受けようが、ウクライナを征服するためにこのような犠牲は妥当なものだということだ。

一般のロシア人はウクライナを征服することによって、何らかの利益を求めない。ウクライナ征服自体が目的だから、ロシアは一切損得勘定をしていない。

2. この戦争は今後の世界情勢にどんな影響を及ぼすか。

この戦争では、世界秩序が守られるか、崩壊されるか、ということがかかっている。この戦争は、いずれにしても「前例」になる。もしこの戦争で、ロシアが勝ってしまうと、世界秩序が崩壊する。侵略戦争が成功した事例がで、他国の領土を武力で奪っても罰せられることはないという常識ができあがる。そうすると、ロシアと、ロシアと同じような独裁国家が戦争を起こしやすくなる。中国はこの戦争をよく観察している。もしロシアが勝てば、中国も領土拡張が成功すると思込み、南シナ海や台湾に対して、領土拡張のための戦争を起こす可能性が高まる。ロシア自身も次から次へと、旧ソ連圏を全て征服するために戦争を起こすだろう。

逆にウクライナが勝ち、ロシアの侵略を撃退できれば、世界秩序が守られる。この場合、領土拡張のための侵略戦争を起こしてもそれが失敗する、という前例ができる。次に侵略戦争を企んでいる独裁国が失敗を恐れて、戦争をためらう可能性が高くなる。だから、国際平和を守るために、この戦争でウクライナが勝たなければならない。

3. この戦争を一刻も早く終わらせるために、何をすべきなのか。

ロシアは何としてもウクライナ征服したい。だから、この戦争を話し合いで終わらせることが不可能だ。ロシアに戦争を続ける物理的な手段が残っている限り、ロシアは戦争をやめない。言い換えれば、この戦争を止める唯一の方法とは、ロシアから戦争継続能力を奪うことだ。つまり、戦場でロシア軍を壊滅させるしかない。



ロシア軍を壊滅させるには、ウクライナ軍を強くしなければならない。そのために、ウクライナになるべく多くの武器を送る必要がある。この戦争を早く終わらせるには、これから自由民主主義諸国はウクライナに対して最大限の武器提供をしなければならない。武器提供について、制限をかけてはならない。必要な種類の武器を、必要な数で提供すべきである。

自由民主主義諸国の中に未だにウクライナへの武器提供に慎重な意見が強いがこのような考え方は完全に間違っている。ウクライナへの武器提供の遅れはこの戦争を長引かせ平和回復が遠のくのだ。日本も様々な支援ができる。人道支援や装備の支援。岸田首相はウクライナに自衛隊車両を 100 台送ると表明した。これから更に踏み込んで、防衛装備移転三原則を見直す時期も来ているのではないだろうか。

ここで個人的な支援活動を紹介する。私自身は、日本の中古車両を購入し、ウクライナ軍のために送っている活動をしている。日本の民間車両がウクライナ軍に非常に高く評価されているので、それは民間人が出来る最大の支援なのではないかと思う。その車両を購入し、ウクライナに送るために寄付をお願いしているので、ウクライナを支援したい方には、是非力を貸して頂きたい。

4. 独裁主義と自由民主主義の対立の中で、この戦争はどういう位置づけなのか。

現在、世界で新冷戦が起きている。日欧米を中心とする自由民主主義諸国と、中露を中心とする独裁国家が、世界の主導権を巡って競争している。

ロシアによるウクライナ侵略は、新冷戦の一局面だ。この戦争は、自由民主主義と独裁の衝突だ。自由民主主義諸国側の代表は、ウクライナで、独裁国側の代表はロシアだ。

この戦争でどちらが勝つかによって、新冷戦全体の行方が定められる。ロシアが勝ってしまうと、今後の新冷戦において、独裁国側が有利になる。自由民主主義体制は、脆弱で、強権的な独裁体制に負けていることが示されることになる。また、現在どちら側にもつかない、いわゆるグローバルサウス諸国は独裁国側になびく可能性が高い。

自由民主主義側が不利になり、新冷戦に敗北して

しまうと、世界は独裁国だらけになり、自由がなくなる。暗黒時代が到来する。

一方、ウクライナが勝てば、自由民主主義側が有利になるのは間違いない。この場合、自由民主主義体制は独裁体制より優れていることが示され、世界中に自由民主主義の価値観が浸透しやすくなる。

独裁国家は今ほど好き勝手に戦争を起こすことが難しくなる。

5. これから恒久平和を築くために何をすべきか。

今まで自由民主主義諸国は中露をはじめとする独裁国家と貿易関係を結び、独裁国家を経済的にも技術的にも発展させた。そして、国力を身につけた独裁国家は、今度自由民主主義諸国の脅威となっている。これは非常に大きな歴史的な失敗である。この失敗を繰り返してはいけない。これから、独裁国家の発展に貢献してはいけない。独裁体制が続いている限り、貿易関係を最小限に縮小し、独裁国を世界のサプライチェーンから外すべきである。また、これから独裁国を抑止する体制が必要になる。ヨーロッパでは、集団防衛体制である NATO が存在するが、NATO のような仕組みを世界規模で作るべきである。地理的な範囲を超えて、全ての自由民主主義諸国が加盟できる強力な集団防衛体制が確立すれば、独裁国をこれ以上戦争を起こすことができなくなり、その時はようやく恒久平和が訪れる。



本日のお祝い

会員交流委員会

◎奥様のお誕生日 8月24日 谷口祥子様

二コ二コ箱の報告

例会担当委員会

(8/17) 合計 13,000 円 今年度累計 79,000 円

奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ

世界に希望を生み出そう

GM

8/31(木)、GM（グリーンミーティング）を行いました。場所は一次会を「祇園ことぶきや」にて京都らしいお食事を頂き、二次会は近くの生演奏が聴けるとても素敵なお店「Rapos」へ。

久しぶりの杉森さんは知恩院から参加して頂けました。お世話頂いた山村さん有難うございました。.

